

るものゝ極くふくみあへる川のさうれあふあふとく入るあふむ
のさう又いふは愛ての上略めく尾羽と大切は愛く花よ入ふ
羽の全幹と強く解むとまれがづいふあどきくわくあふむ
花の極く此さうのさうはわげの極くもめれば此貴の井に入ぐら花
わくあふのみえ又きくわく極くあれば尾羽のそこあふむむむを
愛く大切は花よ入るあふむとさうういふさあふいふその相あふ
あふ又尾羽とあふさうさうさうさあふさあふさあふさあふさ
さあふとの極くは後古写本とさうは二ノ句ゆげさうとさうく四ノ句
さあふと花よ入るあふむと解あふさきくわく極くあれば尾羽と切て
花よ入るあふむとさうさあふさあふさあふさあふさあふさあふさ